

---

## “あの日を忘れない”もとみやの記録

---

### 発刊に寄せて

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、はや3年がたとうとしています。謹んで震災により尊い命を落とされました多くの皆様に、心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

また、本市には震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故により、浪江町をはじめ、浜通り地方から多くの方が避難を余儀なくされております。長期にわたる応急仮設住宅での不自由な生活が続いておりますこと、ご心中をお察し申し上げますとともに、一日も早い故郷の復興を心より願うものでございます。

そしてこの間、市民の皆様をはじめ、本宮を故郷とする方々、埼玉県上尾市や全国へそのまち協議会加盟の交流都市、事業連携をいただいている各大学、そして企業や各種団体の皆様から、数多くのご支援ご協力をいただいておりますこと深く感謝申し上げます。

さて、本市では公共施設などの災害復旧事業は順調に進み、平成25年7月には、震災で倒壊した本宮第二中学校の新校舎が、県内の倒壊した小中学校の中では最も早く完成しましたことは、大きな喜びとするところであります。

また、東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故による健康不安の解消のため、内部・外部の被ばく検査を進めるとともに、公共施設や住宅などの除染作業に取り組んでまいりました。平成26年度中には市内全ての地区の除染作業を発注し、平成27年度には完了する予定であります。除染作業により生ずる土砂等の仮置き場についても、各地区の皆様のご理解とご協力をいただきながら鋭意設置を進めております。

さらに、子どもたちの運動機会の確保のため、平成24年7月には屋内遊び場スマイルキッズパークをオープンし、平成25年11月には小学校の中学年を対象としたアスリートエリアを増築し、リニューアルオープンいたしました。平成27年度には、子どもたちが屋外で伸び伸びと遊ぶことができるように、スマイルキッズパークに隣接する記念樹の杜を屋外遊び場として整備を行います。また平成26年度に市内各小中学校にエアコンを設置し、学習環境の整備を行ってまいります。

最後になりましたが、本記録誌は震災と原発事故をしっかりと記録し、震災後の本宮市の状況と対応などを後世に伝える事と、一日でも早く元気な本宮市を取り戻していくための道しるべとして製作したものであります。そして、これからも復興計画に掲げる「安全と安心を大きな夢につなげる『福島へのまち』本宮」をスローガンとして、市民の皆様とともに、本市の早期復興に強い心で臨み、さまざまな施策をその時々々の状況を冷静に見極めながら、復興を更に加速し市政を執行してまいります。今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、発刊に寄せてのあいさつといたします。



福島県本宮市長  
高松 義行